

睡眠時無呼吸症候群

(Sleep Apnea Syndrome : SAS)

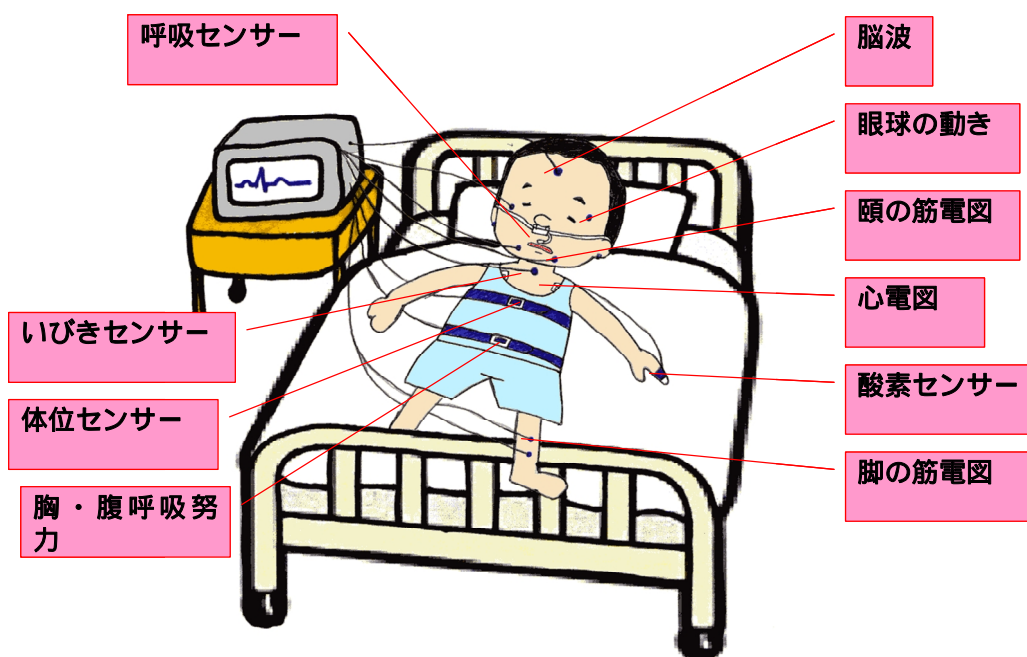
どんな病気??

睡眠時無呼吸症候群 (Sleep Apnea Syndrome : SAS) とは睡眠中に 10 秒以上の呼吸が停止、つまり無呼吸が 5 回以上繰り返される病気です。主に、いびきや昼間の眠気、熟睡感がない、起床時の頭痛などの症状があります。また、SAS は生活習慣病と密接に関係しており、放置すると生命の危険に及ぶこともあります。また、SAS 特有の眠気は交通事故を起こす危険もあり、早期に適切な治療をすることが大切です。

検査はどのように行うの??

無呼吸を指摘されたり、SAS の疑いがある場合は、内科を受診してください。問診時に睡眠、自覚症状について質問させていただき、その後の検査方法を決定します。

SAS が疑われる場合は、夜間の状態を診るため、基本的には夜間の睡眠時の状態を入院をしていただき検査させていただきます。



検査の流れ

自宅での簡易検査<終夜経皮的動脈血酸素飽和度測定>

一晩、機器を貸出しますので、自宅にて、睡眠中の血中酸素飽和度の低下回数を測定していただきます。

初診料など、3割負担で2500円くらいです。



簡易検査の結果、
SASの疑いがあると
判定された場合、、、

一泊入院検査<終夜睡眠ポリグラフィー>

病院に一晩入院していただき、夜間の睡眠の状態をさらに詳しく検査させていただきます。

脳波、目の動き、鼻の気流、口の気流、あごの筋肉、心電図、胸の動き、腹の動き、足の動きを記録します。

3割負担で25000円くらいです。

<入院スケジュール>

当日19時頃までに、入院手続きを済ませ、病室に入ってください。
20時から機器の取り付けを開始し、21時消灯となりますので、一晩寝ていただきます。翌朝、7時半頃、機器の取り外しを行い、その後退院となります。